

2020年度 小委員会活動成果報告

(2021年2月4日作成)

小委員会名	強非線形問題小委員会		主 査 名：大塚貴弘 就任年月：2018年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：高田豊文
設 置 期 間	2018年4月 ～ 2022年3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築構造における崩壊問題等の強い非線形を有する諸問題に対して、数値解析を行う環境は整備されつつあるが、建築分野において、その解析の品質を評価する環境は整備されているとは言い難い。そこで強非線形問題の数値解析例に対し、検証と妥当性を確認する (Verification and Validation を含む) 環境を整備することを目的とする。また、大学院生や若いエンジニアが数値解析を用いて実現象を追跡しようとした場合に間違い易い例や注意点を挙げ、整理する。</p> <p>初年度：建築構造物の強非線形問題に対する数値解析の品質保証に関して、他学会の取り組みを調査し、建築構造分野における問題点・留意点を挙げ整理する。</p> <p>2年度：抽出された問題点・留意点に対して、それを端的に現した解析事例等を調査し、整理する。</p> <p>3年度：数値解析事例を通して、建築構造の強非線形問題に対する数値解析の品質評価に関する資料を作成する。</p> <p>4年度：纏められた技術資料を基に建築構造の強非線形問題に対するシミュレーションの品質評価に関するセミナーを開催する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：大塚貴弘 (名城大学) 幹事：寒野善博 (東京大学) 委員：荒木慶一 (名古屋大学), 磯崎 浩 (日本建築センター), 熊谷知彦 (明治大学), 多田元英 (大阪大学), 寺西正輝 (新潟大学), 中川貴文 (京都大学), 長沼一洋 (日本大学), 三宅辰哉 (日本システム設計), 宮村倫司 (日本大学), 武藤 厚 (名城大学), 村本 真 (京都工芸繊維大学), 山下拓三 (防災科学技術研究所)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)			
2020年度予算	60,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2020年度大会 (関東) 諸行事は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. セミナーで取り上げる内容については概ね固まり、その資料を作成している段階である。
委員会活動の問題点・課題	1. コロナ禍においてセミナーをどのように実施するのが効果的か、また、V&V について運営委員会と本小委員会の役割分担については検討の必要がある。